

## 第 73 回社団法人日本脳神経外科学会北海道支部会

### —外科手術と血管内手術の融合—

#### 開催のご挨拶

第 73 回社団法人日本脳神経外科学会北海道支部会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。一昨年来、北海道支部会の活性化に向けた取り組みがなされる中、会長を拝命することは、今後の北海道の脳神経外科医育成において責任は重大であり、身の引き締まる思いでございます。現在、活気ある脳外科支部会を達成するため、平成 26 年 9 月 6 日の開催日に向け、札幌白石記念病院職員一同で鋭意準備に取り組んでいるところでございます。



さて、今回の支部会では、“外科手術と血管内手術の融合”というテーマを掲げ、シンポジウムを企画することといたしました。日常の脳外科診療において未破裂脳動脈瘤は大きなテーマであります。その治療はここ十数年にわたり大きな課題でありました。マイクロサージャリーの飛躍的な進歩と血管内手術の普及により治療法が多様化したのに加え、患者を取り巻く環境もインターネットという情報化社会のなかで大きく様変わりしてきております。このような中で脳動脈瘤治療を行うには、脳外科医が一つの治療に偏らず、外科手術、血管内手術双方の特徴を知り、個々の症例にあった治療法はなにか、補完的な治療の組み合わせはないか等、患者に必要な情報を的確に説明しなければならない時代を迎えたものと思われま。今回のシンポジウムで、同一施設内での外科チームと血管内チームがどのようなディスカッションのもと、脳動脈瘤の治療に携わっているのか、北海道での現状をお示しできればと考えております。加えて、ランチョンセミナーでは、順天堂大学脳血管内治療学講座教授の大石英則先生をお招きして、未破裂脳動脈瘤の数多くの症例の中、外科手術と血管内手術の棲み分けをどのように実践されているかご講演をいただくこととしております。血管内治療では脳動脈瘤治療において、今後、新規デバイスの導入も予定される中、まさに脳動脈瘤治療の新時代を迎えたといえる今日ですが、本企画が安全で確実な治療を患者様に提供するための一助になれば幸い

です。

また本支部会の新企画として、一般講演の座長の先生方に、各セッションで **keynote lecture** を行っていただくことといたしました。若い先生のみならず、シニアクラスの先生方におかれましても、脳外科疾患の最新のトピックスを幅広く学べる会となれば、本支部会の活性化にもつながるのではないかと思います。特に、本会では北海道の脳神経外科に関わりの深い神経再生医療の演題も募集しており、新しい知見が聞けるものと期待しております。

札幌は、種々の花々が咲き乱れる一年で最も良い時期を迎える頃となりました。9月には多くの会員の皆様にお集まりいただき、活発な討論がなされることを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

#### 第73回日本脳神経外科学会北海道支部会

会長 野中 雅

特定医療法人 医翔会 札幌白石記念病院 院長

- 
- ・会期 : 平成26年9月6日(土曜日) 9:00~17:00
  - ・会場 : 札幌医科大学 講堂  
〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目  
TEL 011-611-2111(代表)
  - ・参加費 : 2,000円

#### 講演要領

- ・講演時間 : 一般演題 発表5分 (他にシンポジウム、ランチョンセミナー、FD講習会あり)
- ・発表形式 : PCプレゼンテーションのみ (ご自身のパソコン Windows または Mac)

## 演題募集要領

- ・演題受付期間 : 平成 26 年 6 月 6 日 (金) ～平成 26 年 8 月 6 日 (水)
- ・演題登録 URL : [http://jns.umin.ac.jp/meeting/branch\\_hk/hk73.html](http://jns.umin.ac.jp/meeting/branch_hk/hk73.html)  
(第 73 回日本脳神経外科学会北海道支部会 演題登録ページ)